

「取組の成果（仮称）」のまとめ方について（案）

1 編集方針

- 1) 対象 一般向け（配布先・部数については今後検討）
- 2) 目的 研究の成果及び必要性についての理解促進
- 3) 体裁
 - ・形式 A4 8P
 - ・形態 イラスト中心
- 4) 内容
 - 表紙 1 P
 - 経緯・背景（内分泌攪乱化学物質に関する説明含む） 1 P
 - 研究成果（最大8項目程度） 4 P
 - 課題と今後期待される成果 2 P

2 作成方法

- 1) 第2回会議において、編集方針及び作成方法の審議
- 2) 事務局より上記「研究成果」の項目について、研究者等に対しアンケート調査を実施
 - ・アンケート用紙案（裏面）
 - ・配布先：内分泌攪乱化学物質問題検討会委員
環境省各研究グループ代表者等
CREST 研究代表者等
文科省特定領域研究グループ長等
内分泌攪乱化学物質問題関係省庁課長会議メンバー
- 3) 第3回会議において、アンケート結果を基に項目の選定
- 4) 第4回又は第5回会議において、「取組の成果（仮称）」の原案（事務局作成）について審議
- 5) 作成・配布及びホームページ上で公開

3 その他

別途専門家向け報告書を平成16年度中を目途に作成することを検討

アンケート用紙（案）

「取組の成果（仮称）」のまとめに掲載すべき項目について
（意見募集）

環境省では、内分泌攪乱化学物質問題に関するこれまでの取組の成果について、一般の方々にわかりやすい形（A4、8ページのパンフレット）で情報提供したいと考えております。

本パンフレットに記載する成果の項目としては最大8項目ほどを考えており、一つ一つの項目ごとにイラストと平易な説明文でその成果をアピールするものです。

つきましては、取り上げるべき成果をご教示頂きたく 月 日（ ）までに下記担当者までご返送賜りますようお願い申し上げます。

記載例：ノニルフェノール、4 - オクチルフェノールの魚類に対する内分泌攪乱作用を確認

1

2

3

4

5

担当： 環境省環境保健部環境安全課
野上 耕二郎
TEL： 03-3581-3351 内線6352
FAX： 03-3580-3596
e-mail： KOJIRO_NOGAMI@env.go.jp